

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子育て支援センター サンライズKizzu		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多彩な活動プログラムの立案	<ul style="list-style-type: none"> ・月間テーマ、週間テーマを決めて、活動プログラムが固定化されないように工夫している。変化が大きくなりすぎて混乱しないよう、あえて同じことも残している(全体の流れや、支援ツールなど) ・テーマを、保護者に周知している 	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域との関連について、職員で知識をより深める ・目的意識を持って活動を実施するために、日々の記録に活動の目的を記載する
2	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、時間を決めてスタッフ間の共有時間を設けている。参加が難しい場合は、記録を残して共有している。 ・アプリを使用して、タイムリーな情報共有を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担の明確化
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の実施や、きょうだいへの支援	茶話会を年に2回できたがもう少し参加しやすい形を作っていきたい。兄弟も参加できるように工夫していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なイベントの企画と実施
2	各種マニュアル(事故防止マニュアル等)の保護者への周知・説明の不足	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを策定してはいるが、保護者への周知・説明の具体的な方法を検討できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・時期を決めて、連絡アプリなどで保護者に周知する
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子育て支援センターサンライズKizzu

公表日 2026年3月25日

利用児童数 34名

回収数 19名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17			2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17			2		1日の定員10名に対し、5名の職員が 在中しています。療育中は、5名程の お子さんに対し、3名程の職員で対応 しています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー 化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18				1 日々工夫していただいています	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思います か。また、子ども達の活動に合わせて空間となっていると思いますか。	19					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いますか。	19					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	19					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されている と思いますか。	19					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の 提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す 支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、 具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19					小集団の中で、言語面、運動面等、 それぞれの目的に沿った支援を取り 入れていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	17				2	毎月異なる月間テーマを決め、活動 が固定化されないようにしていま す。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子ども と活動する機会がありますか。	11			1	7	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	19						
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされました か。	19						
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	17		1		1		
15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況 について共通理解ができていると思いますか。	19						

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19					半年に1回以上の面談を行います	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	3	1	4		茶話会を令和7年7月と10月に行っています。誰でも参加できるような工夫をしていきたいと思っています。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19						
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18				1	HUGにて活動記録を定期的に発信しています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18				1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17				2	各マニュアルが策定されています。保護者の皆様への周知・説明が不足の部分がありましたので、今後の課題として取り組んでいきます。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18				1	避難訓練を月に1回行っています。詳細は、HUG『活動記録・公式LINE』にて公開しています。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17				2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1			2	事故等がなかったため、分かりません。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19					2歳から通わせてもらっています。もはや第2の家のような安心感を持っています😊	ありがとうございます。これからもそう言っていただけるような支援をしていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	2				何より楽しみにしています😊	ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1				親子共々本当に支えていただいています。いつも本当にありがとうございます😊 もう少し日数が増やせればと思っています。	日にちの増加については、相談していただければと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		子育て支援センターサンライズKizzu		公表日		2026年 3月 25日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・時間を決め、毎日の掃除を徹底している			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・2階スペースを利用している			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		・毎日、終礼での振り返りをしている ・毎日、終礼での振り返りを通して職員間で共有している。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・終礼での意見交換をしている			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	・市から案内される研修について、貼りだして周知している			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	1				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・個人の意見に偏らないよう、支援会議の中で、全スタッフの意見が求められている			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・支援記録記入の際に、確認できるようになっている(HUG)			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・活動を振り返り、出た意見を改善につなげ、次の活動の立案に役立てています。			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・週ごとに机上課題、運動の時間を設けています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・前日の終礼にて共有、直前の変更はアプリを使用して共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・終礼での振り返り、記録も残している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	・会議に積極的に参加している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	・個別支援計画書をもとに、情報共有を行っている。日々の連携に加え、半年に1回ペースで、園の様子や困りごとを書面にて詳しく聞いている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・就学支援シートの作成	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		4		・地域部会（東区部会）には参加しているが、直接助言を受ける機会は少ない
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・送迎時や連絡アプリ（HUG）で連携を図っている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	・研修案内はしている ・茶話会を開催し保護者との情報交換が出来ました。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			・半年に1回は、必ず行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1			・茶話会を不定期に行っています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4				・迅速に対応している
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4				・毎日のインスタ更新 月に2回のお便り
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4				
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			4		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4				・月に1度様々な想定避難訓練を行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4				・服薬管理等必要なケア児は現状いない
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1			・基本的に食事の提供はない クッキングの際は保護者への事前確認をしている
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4				
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1			・家族への周知の部分で不足さを感じる
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1			・報告書の作成、共有を行っている スタッフで対策を話し合っている
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4					